

飛翔  
HISYOU

スローガン  
世界で一番通いたい学校

〈めざす生徒像〉

自主：正しく判断し主体的に行動する生徒  
協調：信頼し助け合い、思いやりと感謝のある生徒  
責任：責任を自覚し、最後までやり抜く生徒  
勤勉：喜びを感じながら、主体的に学ぶ生徒  
健康：逞しく生きるための意志や体力を持つ生徒

令和3年6月25日  
枚方市立長尾中学校  
校長通信 第14号

## 23日は「沖縄慰霊の日」

第二次世界大戦末期となる昭和20年（1945年）の沖縄戦では、住民を巻き込んだ激しい地上戦で20万人を超える人が亡くなり、住民など非戦闘員の犠牲は約9万4千人に上りました。沖縄県は、旧日本軍の組織的な戦闘が終わったとされる6月23日を「慰霊の日」とし、毎年県内の各地で平和への祈りがささげられてきました。

糸満市摩文仁の平和祈念公園で行われた沖縄戦全戦没者追悼式では、宮古島市立西辺中学校2年の上原美春さんの「みるく世の謳（うた）」が今年の平和の詩として朗読されました。

初めて命の芽吹きを見た。  
生まれたばかりの姪（めい）は  
小さな胸を上下させ 手足を一生懸命に動かし  
瞳に湖を閉じ込めて  
「おなかすいたよ」「オムツを替えて」と  
力一杯、声の限りに訴える  
大きな泣き声をそっと抱き寄せられる今日は、  
平和だと思う。  
赤ちゃんの泣き声を愛（いと）おしく思える今日は  
穏やかであると思う。  
その可愛らしい重みを胸に抱き、  
6月の蒼天（そうてん）を仰いだ時  
一面の青を分断するセスナにのって  
私の思いは76年の時を超えていく

この空はきっと覚えている  
母の子守唄が空襲警報に消された出来事を  
灯（とも）されたばかりの命が消されていく瞬間を  
吹き抜けるこの風は覚えている  
うちな一ぐちを取り上げられた沖縄を  
自らに混じった鉄の匂いを  
踏みしめるこの土は覚えている  
まだ幼さの残る手に、銃を握らされた少年がいた事を  
おかえりを聞くことなく散った父の最後の叫びを  
私は知っている  
礎（いしじ）を撫（な）でる皺（しわ）の手が  
何度も拭ってきた涙  
あなたは知っている あれは現実だったこと  
煌（きら）びやかなサンゴ礁の底に  
深く沈められつつある 悲しみが存在することを

凜（りん）と立つガジュマルが言う  
忘れるな、本当にあったのだ  
暗くしめった壕（ごう）の中が  
憎しみに満たされた日が本当にあったのだ  
漆黒の空 屍（しかばね）を避けて逃げた日が  
本当にあったのだ  
血色の海 いくつもの生きるべき命の  
大きな鼓動が岩を打つ波にかき消され  
万歳と投げ打たれた日が本当にあったのだと  
6月を彩る月桃が揺蕩（たゆた）う

忘れないで、犠牲になっていい命など  
あって良かったはずがない事を  
忘れないで、壊すのは、簡単だという事をも  
ろく、危うく、だからこそ守るべき  
この暮らしを忘れないで  
誰もが平和を祈っていた事をどうか忘れないで  
生きることの喜び  
あなたは生かされているのよと  
いま摩文仁の丘に立ち私は歌いたい  
澄んだ酸素を肺いっぱいにとりこみ  
今日生きている喜びを震える声帯に感じて  
決意の声高らかに  
みるく世ぬなうらば世や直れ  
平和な世界は私たちがつくるのだ

共に立つあなたに感じて欲しい  
滾（たぎ）る血潮に流れる先人の想（おも）い  
共に立つあなたと歌いたい  
蒼穹（そうきゅう）へ響く癒（いや）しの歌  
そよぐ島風にのせて歌いたい  
平和な未来へ届く魂の歌  
私たちは忘れないこと  
あの日の出来事を伝え続けること  
繰り返さないこと  
命の限り生きること  
決意の歌を歌いたい

いま摩文仁の丘に立ち  
あの真太陽まで届けと祈る  
みるく世ぬなうらば世や直れ  
平和な世がやってくる  
この世はきっと良くなっていくと  
繋（つな）がれ続けてきたバトン  
素晴らしい未来へと信じ手渡されたバトン  
生きとし生けるすべての尊い命のバトン  
今、私たちの中にある  
暗黒の過去を溶かすことなく  
あの過ちに再び身を投じることなく繋ぎ続けたい  
みるく世を創るのはここにいるわたし達だ



※「みるく世」弥勒神が治める平和で豊かな世界のこと 「うちな一ぐち」沖縄の方言のこと  
「月桃」沖縄の山野に群生するショウガ科の植物  
「揺蕩（たゆた）う」物がゆらゆらと揺れる様子から、気持ちが定まらずためらう様を表す

# 1学期末試験

## 3年生は3日間で8教科のテストが行われました。

3年生は23日、24日、25日の三日間、1・2年生は24日、25日の二日間、1学期末試験が行われました。昨年度はコロナ禍による長期休業の影響で1学期中間試験を中止し、7月の16日、17日の二日間で期末試験を行いました。3年生にとっては、実力テストも含め年間7回行われるこの試験も、卒業後の進路を決める大切なものになります。どのクラスもテストに臨む真剣な表情がたいへん印象的でした。



1組



2組



3組



4組



5組

### 6月25日(金)は創立記念日

今月25日は長尾中学校の創立記念日です。一昨年まで学校を休みにしていましたが、コロナ禍の授業時数確保のため、昨年に続いて休業日としました。昭和54年(1974年)に創立した長尾中は、今年で42年目を迎えます。

### クラブ成績紹介

本校剣道部が以下の大会で優秀な成績を取めたので紹介します。よく頑張りました。

【大会名】大阪府北河内地区剣道春季大会

【日時】令和3年6月20日(日)

【会場】枚方市立第四中学校体育館

【成績】男子個人の部

〈優勝〉2年3組 山口 琉星さん(中)

〈Best 8〉3年5組 政岩 瑛汰さん(右)

3年2組 古賀 陸真さん(左)

女子個人の部

〈優勝〉2年2組 加藤 心菜さん



### 今の中3生以降の大学入試

#### 記述式と英語民間試験の導入断念

今の中学3年生以降が対象となる、2025年からの大学入学共通テストをめぐり、文部科学省が、国語・数学での記述式問題導入と英語民間試験の活用を断念する見通しとなりました。今夏にも正式決定するようです。これにより、かつての入試改革の二大看板は、導入見送りがほぼ確実となった訳です。

記述式導入と英語民間試験の活用は今年から始まった共通テストで採り入れられる予定でした。自分の考えを論理的にまとめる力や、英語の「読む・聞く・書く・話す」の4技能を評価するためです。しかし、「公平な採点が難しいのではないか」「地域格差や経済格差などの課題が解決されていない」などの反対論が相次ぎ、文科省は19年に見送りを決定。共通テストを含めた入試のあり方について議論し、今の中学3年生が受験する2025年以降の大学入試の在り方について有識者会議を設け、2つの柱について改めて共通テストへの導入の可否を検討してきました。ところが今月22日の会議で、いずれも「実現は困難と言わざるをえない」という提言案が示されました。一方、提言案では、各大学の個別試験では、いずれの導入を進めていくべきだとして、推進策の充実も盛り込まれています。